

2016.1.14

インターリスクアジア
インターリスク・アジア (タイランド)

アジアリスク情報 【速報】

ジャカルタ中心部での爆発事件について

1. 状況

現地時間午前 10 時 40 分ごろ、インドネシア首都のジャカルタ中心部にある Thamrin 通りと Wahid Haysim 通りの交差点付近で、複数の爆発と銃撃戦が発生したと報告されています。

爆発のうち一つは、サリナ・デパート前の交番付近で発生しました。また、周辺のスターバックスなど複数の建物でも爆発が発生し、10 分間の間に 7 回の爆発が発生した模様です。

爆発後すぐにサリナ・デパート周辺に特殊部隊の装備を装着した警察が駆けて現場周辺を封鎖し、容疑者と銃撃戦になりました。

サリナ・デパート周辺には大統領府や国連事務所のほか、主要ホテルや多国籍企業のオフィスも多数所在するなど、今回の爆発はジャカルタの中心市街で発生しています。また、在インドネシア大使館はサリナ・デパートから南へ約 150m 離れた場所に建っています。

爆発によって周辺の人々は当初はショックを受けましたが、まもなく現場に集まり、警察による容疑者の追跡を見守っていました。

爆発事件の容疑者らは Djakarta Theatre に立て籠もりましたが、警察はすぐに同ビルを包囲し、容疑者らと銃撃戦になったようです。

今回の爆発事件には、バイクに乗車した者や手榴弾を使用しているものなど、14 人の武装集団が関与していると見られており、そのうち 6 人が Thamrin 通りの Skyline ビル (Skyline Building) に立て籠もったようです。

当初サリナ地域以外の周辺エリアでも爆発が発生したとの未確認情報がありましたが、国家警察は他地域での爆発は発生していないと否定しています。



【図】爆発の発生した地域周辺

(出典 : Google Map <https://www.google.co.th/maps>)



【凡例】

- 爆発発生地域
- スカラノ・ハッタ国際空港
- 外国人が多く居住するエリア (SCBD, Senayan, Mega Kuningan)

(出典 : Google Map <https://www.google.co.jp/maps>)

現地時間 13:45 時点で、4 人の容疑者が射殺され、その 1 時間後にその他容疑者 4 人が警察により逮捕されたと報道されています。インドネシア国家警察は、フェイスブックで「事態は収束した。7 人の襲撃犯による犯行で、3 人が死亡、4 人を拘束した。」との声明を発表しました。

2. 原因

爆発事件の背後関係や首謀者等に関する詳細は不明ですが、ジャカルタの警察当局はこれまでインドネシアで襲撃事件が発生するのは時間の問題だとしていました。

インドネシアでは、ジャカルタ市内でのテロ攻撃を計画したなどの疑いで 2015 年 12 月に「イラク・レバントのイスラム国」(ISIL) のメンバーと見られる 9 人が警察により拘束されています。今回の事件が ISIL と関係があるのかは現時点で不明とされています。

3. 爆発による被害

国家警察副長官 Budi Gunawan は報道陣に対して、次のように話しています。

「4 人の容疑者が死亡した。2 人が Djakarta Theater 前で射殺され、2 名がサリナ・デパート前の交番における自爆テロで死亡した。2 名の一般市民が死亡した (1 名は外国人、1 名はインドネシア人)。10 名が負傷し、うち 5 名が警察官である」

4. 注意情報

インドネシアの米国大使館は、次の注意情報を出しています：

「全ての米国国民は、ジャカルタ市街地の Sudirman Thamrin 通り (Jalan Sudirman Thamrin) にあるサリ・パンパシフィックホテル (Sari Pan Pacific Hotel) と サリナ・プラザ (Sarinah Plaza) 周辺に近づかないようにしてください。当該地域周辺で爆発と銃撃戦が発生しているとの報告があります。」

5. 企業の対応策

現時点における企業の対応策として、以下の対応が挙げられます。

1. 注意情報が出ている地域へは近づかない。
2. 夜間の外出を避ける。
3. 欧米系やロシア系の施設周辺へは近づかない。
4. 通勤経路に警戒地域がある場合は、通勤経路を変更する。
5. 情報収集担当者を選任のうえ、当該事件に関する情報収集を行う。
6. 社員の安否確認を実施する。
7. 安全が確認されるまで、インドネシアへの出張を控える。
8. 安全が確認されるまで、インドネシアからの出張を控える。

■参考情報・Web■

<http://www.9news.com.au/world/2016/01/14/15/16/reports-of-bombings-exchange-of-heavy-gunfire-in-jakarta-indonesia>
<http://www.channelnewsasia.com/news/asiapacific/live-blog-jakarta/>
<http://www.bbc.com/news/live/world-asia-35309116>
<http://www.bbc.com/news/world-asia-35309118>
<http://www.theguardian.com/world/live/2016/jan/14/multiple-explosions-gunshots-reported-in-jakarta-rolling-report#block-5697234be4b0831c47626688>

株式会社インターリスク総研は、MS&AD インシュアランスグループに属する、リスクマネジメント専門のコンサルティング会社です。アセアン進出企業さま向けのコンサルティング・セミナー等についてのお問い合わせ・お申込み等はお近くの三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保の各社営業担当までお気軽にお寄せください。

お問い合わせ先

㈱インターリスク総研 総合企画部国際業務チーム
 TEL.03-5296-8920 <http://www.irric.co.jp/>

インターリスク・アジアは、シンガポールに設立された MS&AD インシュアランスグループのリスクマネジメント会社であり、アセアン各国のお客さまに、火災・洪水・電気等の各種リスクサーベイ、労働安全、盗難リスクなどの各種リスクコンサルティングサービスをご提供しております。お問い合わせ・お申込み等は下記までお気軽にご連絡下さい。

お問い合わせ先

Interisk Asia Pte Ltd
 16 Raffles Quay #19-05A Hong Leong Building Singapore 048581
 TEL.+65-6227-4576 <http://www.irricasia.com>

InterRisk Asia (Thailand) Co., Ltd.
 175 Sathorn City Tower 9th Floor, South Sathorn Road, Thungmahamek,
 Sathorn, Bangkok, 10120, Thailand
<http://www.interriskthai.co.th/>
 Direct: +66-(0)-2679-5276
 Fax: +66-(0)-2679-5278

本誌は、マスコミ報道など公開されている情報に基づいて作成しております。
 また、本誌は、読者の方々に対して企業の事業活動等に役立てていただくことを目的としたものであり、事案そのものに対する批評その他を意図しているものではありません。

不許複製／Copyright 株式会社インターリスク総研 2015